

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	21-307	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Review article: the role of nutrition in alcohol-associated liver disease アルコール関連肝疾患における栄養の役割		
執筆者		
Indira Bhavsar-Burke ¹ , Claire L Jansson-Knodell ¹ , Ashley C Gilmore ¹ , David W Crabb ¹		
掲載誌		
Aliment Pharmacol Ther. 2021 Jun;53(12):1268-1276. doi: 10.1111		
キーワード	PMID	
栄養、栄養不良、アルコール性肝疾患	33896017	
要 旨		
<p>背景 栄養不良は、アルコール関連肝疾患の患者においてよく遭遇する問題である。アルコール関連肝疾患の管理における栄養補給の役割は、患者の転帰に不可欠であり、肝性脳症の発生率の低下、肝移植後の転帰の改善、90日間の入院による再入院の減少および死亡率の低下につながることを示されている。これらの利点にもかかわらず、多くの研究により、栄養支持はアルコール関連肝疾患患者の治療において十分に活用されていない手段であることが示されている。</p>		
<p>目的 : アルコール関連肝疾患と栄養の関係について、疫学、病態生理、栄養評価および栄養補給の推奨事項、ならびに今後の研究の方向性について概説すること。</p>		
<p>方法 このナラティブレビューのために、MeSH用語を用いてPubMedによる文献検索を行った。</p>		
<p>結果 アルコール関連肝疾患における栄養不良の病態生理には、食事摂取量の減少、社会経済的状況、栄養素の吸収障害、フリーラジカル種の増加が関与していることが明らかとなった。</p>		
<p>結論 栄養不良はアルコール関連肝疾患によくみられ、医師は臨床転帰不良との関連性を認識すべきである。アルコール関連肝疾患患者の臨床転帰を改善するためには、定期的な栄養評価、栄養士の関与、栄養補給が推奨される。</p>		